

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3609						
科目名	スポーツ運動学演習						
担当教員	本道 慎吾						
対象学年	3年,4年	開講学期	前期				
曜日・時限	月 2						
講義室	1206	単位区分	選				
授業形態	演習	単位数	2				
科目大分類	専門						
科目中分類	専門応用						
科目小分類	専門統合・演習						
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E（学識・専門技能） 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G（状況把握力・判断力） 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 6－K（表現力・対話力） 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識・専門技能（6 0％） G 1 状況把握（2 0％） K 2 オーラル・コミュニケーション（2 0％）						
教員の実務経験							
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期						
科目概要・キーワード	本演習では、現象学的な発生運動学の立場からスポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成について種目横断的に検討します。これによって自身が携わる競技種目について、一般論的な広い視点からの理解を促し、自らの競技力向上やコーチングに活用する方法を学びます。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード：現象学、運動モルフォロジー、動感						
授業の趣旨	■副題 スポーツ運動学の知識を応用し、競技者および指導者としての気づきを探る ■授業の目的 スポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成についての一般論的な内容を議論の中で理解し、自身が携わる競技種目の視点に置き換え、その活用方法について検討することができることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ運動学原論で学んだ知識を実際にどのように自身の活動に生かしていくかについて、さらなる知識の獲得とそれに伴う実践を通して学びます。						
総合到達目標	■スポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成についての一般論的な内容を議論の中で検討し、自身が携わる競技種目の視点に置き換え、その活用方法について理解することができる。 ・スポーツ運動学で用いられる具体的な研究方法について理解し、その結果の解釈について説明することができる。（第1回～第9回） ・スポーツ技術や運動の習得などについて種目横断的な議論から運動が異なる際の様々な相違を説明することができる。（第10回～第15回）						
成績評価方法	■作画課題（2 0％）：適用ルーブリック：E 1・G 1 （評価の観点）動感の表現に必要な運動に関する作画課題を実施し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）提出後、典型的な作画事例を示しながら評価のポイントについて解説します。 ■プレゼンテーション（2 0％）：適用ルーブリック：K 2 （評価の観点）競技者の動感やスポーツ技術、運動の習得などに関する調査結果を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。 ■期末レポート（6 0％）：適用ルーブリック：E 1・G 1・K 2 （評価の観点）競技者としての動感、指導者としての運動を見抜く観点などについてインタビュー形式のレポートを実施し評価を行います。 （フィードバックの方法）提出後に評価のポイントと良い事例を取り上げ講評を行います。						
履修条件	スポーツ運動学原論[SSCS1308]を履修していること						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table><tr><td>回</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。</td></tr></table>			回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。						

	③予習（１２０分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（１２０分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
2	①授業テーマ スポーツ運動学原論の振り返り ②授業概要 スポーツ運動学原論で取り扱われた内容について整理し、演習で取り扱う内容についての確認を行い、用語やその意味などを説明することができる（E１、G１）。 ③予習（１２０分） スポーツ運動学原論の授業資料を確認しておく。 ④復習（１２０分） 自身で理解が困難な用語の意味や使用方法を調査し整理しておく。
3	①授業テーマ 質的研究の方法① ②授業概要 質的研究とはどのような研究を示すのかについて説明することができる（E１、G１）。 ③予習（１２０分） 質的研究とはどのような研究であるのかについて調査し、自身の考えをまとめておく。 ④復習（１２０分） 自身が調査した内容における認識と講義内容からの認識との相違を確認しておく。
4	①授業テーマ 質的研究の方法② ②授業概要 質的研究を進めるにあたりその方法の種類や具体的な内容について学び、自身の課題解決に対して必要な方法について説明することができる（E１、G１）。 ③予習（１２０分） 質的研究の方法にはどのような種類があるのかについて調査しておく。 ④復習（１２０分） 自身が調査した内容における認識と講義内容からの認識との相違を確認しておく。
5	①授業テーマ 運動の習得、運動学習における文献の精読① ②授業概要 運動の習得、運動学習におけるこれまでの文献を整理し精読した内容を踏まえ、種目横断的に議論する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 自身が経験している運動学習の過程を整理しておく。 ④復習（１２０分） 自身の携わる競技種目における運動の習得と他の競技の運動の習得の過程の相違について整理しておく。
6	①授業テーマ 運動の習得、運動学習における文献の精読② ②授業概要 運動の習得、運動学習におけるこれまでの文献を精読した内容を踏まえ、コーチの視点から種目横断的に議論する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 自身が経験している運動学習の過程を整理しておく。 ④復習（１２０分） 自身の携わる競技種目における運動の習得と他の競技の運動の習得の過程の相違についてコーチングに必要な視点から整理しておく。
7	①授業テーマ スポーツ技術の分類における文献の精読 ②授業概要 スポーツ技術の分類に関する文献の精読を行い、競技種目間のスポーツ技術に関する相違について議論する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 技術の運動学的認識を確認しておく。 ④復習（１２０分） 競技種目間の技術の相違や類縁性について議論内容を基に整理しておく。
8	①授業テーマ 動きの形成における文献の精読 ②授業概要 動きの形成における文献の精読を行い、基本的な運動動作を中心とした動きの形成の相違について議論する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） スポーツ運動学における局面構造について確認しておく。 ④復習（１２０分） 動きの形成過程についての競技種目間の相違を整理しておく。
9	①授業テーマ 運動の系統発生における文献の精読 ②授業概要 運動技術の系統発生的視点からの変遷に関する文献を精読し、その技術の系統発生の相違を種目横断的に議論する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 自身の携わる運動技術についての類縁性等を整理しておく。 ④復習（１２０分） 系統発生とはどのような事を意味するのかについて確認し、再度自身の携わる競技における技術との関係性を確認しておく。
10	①授業テーマ 動感を提示する方法 ②授業概要 スポーツ運動学の研究に必要な動く感じをどう表現するかについて必要な知識を学習し、実際にその方法について実践を通して説明することができる（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 自身の動きを日常的な動作を中心に描いておく。 ④復習（１２０分） 学習した内容を踏まえて描いたものと予習時に描いたものを比較しておく。
11	①授業テーマ プレゼンテーション準備① ②授業概要 プレゼンテーションを行うための情報を整理し、自身の発表内容についてそのテーマと方法を他者と議論し、改善点や修正点を抽出する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 発表内容の整理を行っておく。 ④復習（１２０分） 整理、議論を踏まえプレゼンテーション内容の修正を行っておく。
12	①授業テーマ プレゼンテーション準備② ②授業概要 プレゼンテーションを行うための情報を整理し、自身の発表内容について他者と議論し、改善点や修正点を抽出する（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） 発表内容の整理を行っておく。 ④復習（１２０分） 整理、議論を踏まえプレゼンテーション内容の修正を行っておく。
13	①授業テーマ プレゼンテーション① ②授業概要 これまでの内容を整理し、自身の課題に基づくプレゼンテーションを行う（G１、K２）。 ③予習（１２０分） プレゼンテーションを行うための情報を整理しておく。 ④復習（１２０分） プレゼンテーション内容を確認し、スポーツ運動学演習で学んだ内容について整理しておく。
14	①授業テーマ プレゼンテーション② ②授業概要 これまでの内容を整理し、自身の課題に基づくプレゼンテーションを行う（G１、K２）。 ③予習（１２０分） 前回の発表の学生の内容を踏まえてプレゼンテーション内容を整理しておく。 ④復習（１２０分） プレゼンテーション内容を確認し、スポーツ運動学演習で学んだ内容について整理しておく。
15	①授業テーマ スポーツ運動学演習のまとめ ②授業概要 これまでのスポーツ運動学演習での議論内容について総括し、スポーツ運動学における研究の方法とその結果の解釈について説明することができる（E１、G１、K２）。 ③予習（１２０分） これまで授業内で行われた議論内容について整理しておく。 ④復習（１２０分） スポーツ運動学演習において取り扱われた文献や自身が事例的に示した研究における研究方法とその結果について整理しておく。

関連科目	スポーツ運動学原論[SSCS1308]
教科書	指定はありません。
参考書・参考URL	授業時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 授業時に連絡します ■オフィスアワー 火曜日 4 限
研究比率	

